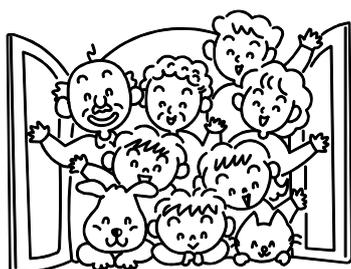


お待ちしております

第28回



# 住民総会

日時： 平成22年4月25日(日) 10:30~  
場所： 桜堤コミュニティセンター 2階会議室  
議題： 平成21年度事業活動報告・会計報告  
平成22年度事業計画・予算案  
運営委員・役員の承認、その他

コミュニティセンターは、地域のまちづくりのための施設で、ボランティアで運営されています。地域の人々が集い、ふれあいと交流をはかる場です。多くの人々のご意見を取り入れて初めてよりよいコミセンづくりができます。

「住民総会」は年に一回開かれ、新年度の事業運営、予算案を審議して頂くために開催する大切な会議です。桜堤コミュニティセンターがより使い易く、楽しい、憩いの場所になるよう、運営や管理について話し合います。

コミセン活動をご理解いただくためにも是非住民総会に、まずはご参加いただき、より深く理解していただきたく、お待ちしております。

## 運営委員・協力員募集

桜堤コミセンは地域のボランティアで運営されています。皆さんの斬新な発想や日頃の活動を桜堤コミセンの向上にお役立てくださいませんか。

コミセンの運営に興味のある方は運営委員に、イベントの協力、広報誌の配布をしてくださる方は、協力員に。皆さんの参加をお待ちしています。

# 21年度開催行事の思い出

## 管外研修

6月23日（火）房総の2万本のアジサイを訪ねるバス旅行を行いました。定員いっぱいの45名の参加で運営委員と地域の方の交流を深めました。



## 多くの子どもたちで賑わった人形劇

7月19日（日）夏休み恒例となった、人形劇団「じろっぼ」による、人形劇を行いました。大広間いっぱいの70名の親子の笑顔と歓声で楽しいひとときとなりました。



## 楽しかった夏まつり

8月28日（金）の『桜堤コミセン夏まつり』は、お天気に恵まれ、盛大に開催することができました。

恒例となった模擬店・花火・盆踊りは、地域の方々もおおいに楽しんでいただき、行く夏のひとときが、思い出深いものになりました。



## 盛り沢山の文化祭

10月31日(土)・11月1日(日)の『桜堤コミセン文化祭は、恒例となり楽しまれている、作品展示・模擬店(カレー・みそ田楽・お饅頭・飲み物・パンなど)・バザー・芸能大会・落語会が地域の多くの方の参加のもと、盛大に開催することができました。

今年は新しく、白鯛焼き、揚げせんべい等の販売も加わり、ジヨージ・ジヨウさんの津軽三味線の演奏も行われ、セピア色の思い出(思い出写真展)には、語り合いの場を設ける等、地域の方々もおおいに楽しんでいただきました。



## お楽しみ餅つき大会

毎年暮れの恒例となって地域の皆さんに待たれている、お楽しみ餅つき大会は、12月6日(日)に、地域の子供さんから大人まで参加して、あんこ・からみ(大根)・きな粉・すりごまの4種類のお餅の餅つき大会を行いました。70キロのお餅をつき、皆さんに楽しんで頂き、運営委員と地域の方の交流を深めました。



## 星の観望会 ～土星と火星を見よう～

冬の空気の澄んだ時期に行っている、星の観望会が2月15日(月)に、地域の多くの子供さん等が参加して、開催されました。今年は、土星と火星を見よう、という企画でしたが、あいにくの雨空。けんちん汁で温まりながら、大広間で宇宙の神秘について、画像と講師・村松先生の説明により楽しみました。



## 地域から

二中だよりから、1月13日（木）にマラソンランナーの有森裕子さんとソフトボールの上野由岐子さんのトークセッションが二中体育館で行われました。お二人から、「夢に向かって」「努力の大切さ」「挫折とそこからの脱却」等の貴重なお話を伺うことが出来ました。

特に有森さんの「試合前にできなかった9つのことよりもできた1つのことを考え、誰も期待していなくても自分が自分に期待すること」という言葉や、上野さんの「神様は乗り越えられる試練しか与えない」「人を好きになることは人を思いやることにつながる」といった言葉が印象的でした、と結んでいます。

生徒からは「何事にも一生懸命に」、「真剣に取り組む」、「毎日の積み重ねが大切なんだ」という感想が寄せられていました。



## 桜野地域社協だより

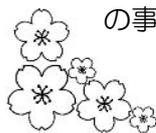
平成21年度災害時要援護者支援対策事業を市、市民社協と協働でスタートしました。

要援護者とは、要介護度4、5で在宅の方、要介護度1～3の方のうち一人暮らし、または高齢者のみの世帯の方、様々の障害をお持ちで災害時に支援が必要と認められた方です。

要援護者一人につき2名以上の支援者を地域の方々にお願ひし災害時には、要援護者に対して、できる範囲での安否確認等を行なっていただくものです。

現在、桜野地域社協エリア（含む、境5丁目）では、52名の要援護者が登録されております。今後この事業の更なる充実のために、地域の多くの方々のご協力をお願いいたします。

桜野地域社協 会長 荒川澄子



## 交通事故防止サポート講座

11月20日（金） 武蔵野警察署から講師を招いて、交通事故防止サポート講座を行いました。特に自転車と人との事故が増加していることから、その注意点等の説明と未然に事故を防止するための説明などを解説頂きました。

なお、参加者から、五日市街道の横断歩道脇の信号制御器が舗道側に突出していて通学児童の妨げになっていることを意見としてお話ししましたところ、早速歩道と反対側に細身の新たな制御器が設置され、改善されました。

## 永年ありがとうございました。

「会報さくらづつみ」でも永年「さくらづつみ いま昔」のコーナーで執筆頂いた、宮崎勇さんが1月24日逝去されました。宮崎さんは武蔵野市の郷土史研究家として知られ、地元の独特の言葉や街の変遷に関する研究を一人で始められ、地元の言葉を「べえべえことば」と命名。1983年には出版もされました。「会報さくらづつみ」にも、平成9年から年2回ご寄稿をいただき、毎回楽しみにしていた方も多くおられました。ご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

・編集会議は毎回楽しくワイワイガヤガヤ♪  
編集後記はいつも苦しくヒーヒーフーフー(^^;)  
あっという間の一年・・・四回発行出来て良かった！

R. K.

・大好きなコミセンで何か出来ればと広報に参加して一年、楽しい雰囲気の一員としてお役に立てたでしょうか。子供達は孫のようで、みんなに楽しめてもらえたでしょうか。

T. K.

・年4回発行は当初からの目標でしたが、夏祭り、文化祭と続く時の発行は、さすがに忙しいというのが素直な感想。広報担当の皆さんが楽しかったというのが私にとって最大のご褒美でした。 A. S.